



神奈川県

KANAGAWA

# かながわグランドデザイン | 評価報告書 2017 (概要版)

Kanagawa Grand Design Evaluation Report 2017 / Digest Version

2017

# かながわグランドデザイン 評価報告書 2017

県では、総合計画「かながわグランドデザイン 第2期実施計画」を着実に推進し、進行管理を行っていくため、総合計画審議会による政策評価を行っています。このリーフレットは2017年度の政策評価の結果を整理した「かながわグランドデザイン 評価報告書2017」の概要版です。「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 プロジェクト編」に掲げた各プロジェクトの評価

や主な取組みと成果を掲載しています。県の施策の全体や評価の詳細については「かながわグランドデザイン」及び「かながわグランドデザイン 評価報告書2017」のホームページをご覧ください(裏表紙参照)。また、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子としても閲覧できます。皆様からのご意見・ご提案をお待ちしております。



## 「かながわグランドデザイン」とは

県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、2012年に「かながわグランドデザイン 基本構想」(以下、「基本構想」という。)及び「かながわグランドデザイン 実施計画」(以下、「実施計画」という。)を策定し、確実に到来する超高齢社会への備えや、2011年3月に発生した東日本大震災の教訓を生かした防災対策の強化など様々な課題への対応を着実に進めてきました。2014年度に「実施計画」の最終年度を迎えたことから、総合的な点検を行った結果、引き続き現行の「基本構想」の方向性に沿って取組みを進めることとし、2015年7月に「第2期実施計画」を策定しました。



基本構想



実施計画  
プロジェクト編



実施計画  
主要施策・計画推進編

## 総合計画審議会の評価(要旨)

2017年度は、一部のプロジェクトにさらなる取組みの推進が求められるものの計画3年目の全体としては概ね順調に進捗していると評価します。今後の取組みに当たり留意すべき課題を該当するプロジェクトごとに指摘しました。こうした課題への対応にあたっては、県民の多様なニーズや市町村の状況の把握、取組みの実効性の検証・分析をさらに進め、これまでの取組みの見直しや新たな施策の展開を図るとともに、県民に向けた情報発信に、これまで以上に効果的に取り組むことを期待します。

### ▶ 評価別プロジェクト数の一覧

2017年度の政策評価の結果の概要は表のとおりです。

プロジェクト全体の評価(二次評価)		プロジェクトの数
順調	🦅🦅🦅🦅	2
概ね順調	🦅🦅🦅	19
やや遅れている	🦅🦅	2
遅れている	🦅	0



## ■ プロジェクト

実施計画に掲げられているプロジェクトは、重点施策を分野横断的にとりまとめたものです。政策のまとまりごとに5つの柱を立て、23のプロジェクトが位置づけられています。

柱Ⅰ	健康長寿	プロジェクト 1~4
柱Ⅱ	経済のエンジン	プロジェクト 5~10
柱Ⅲ	安全・安心	プロジェクト 11~12
柱Ⅳ	ひとのチカラ	プロジェクト 13~17
柱Ⅴ	まちづくり	プロジェクト 18~23

「未病改善」の表現について、第2期実施計画の記載をそのまま引用している箇所は、一部「未病を治す」と記載しています。

# プロジェクトの評価

柱 I	健康長寿	主な取組みと成果	評価	
	<b>1</b>  <b>未病</b>	未病を治す取組みを支える社会環境の整備	  概ね順調	
		未病を治すために重要な、食、運動、社会参加など生活習慣改善の支援		「未病センター」の認証や未病改善の普及を行う「未病サポーター」研修の実施、未病センター（市町村設置）での企業・団体による健康支援プログラムの提供開始
		健康情報の活用による効果的な施策の推進		かながわ女性の健康・未病Week(3月1日～8日)におけるイベント実施、「子どもの未病対策応援プログラム」提供の仕組みを構築
		マイME-BYOカルテの普及拡大、CHO(健康管理最高責任者)構想推進事務所の登録、神奈川県糖尿病対策推進プログラム(かながわ糖尿病未病改善プログラム)の策定		
	<b>2</b>  <b>医療</b>	最先端医療の推進	  概ね順調	
		県民への適切な医療提供体制の整備・充実		「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク」によるセミナー開催、マイME-BYOカルテと連携した電子母子手帳の運用
		医療人材の育成・確保		依存症患者に平日深夜に対応できる医療機関の整備、小・中学校や高等学校における「がん教育」のモデル事業を実施
	<b>3</b>  <b>高齢者福祉</b>	地域包括ケアシステムの構築	  概ね順調	
		認知症の人や家族などに対する総合的な支援		認知症サポート医の養成、若年性認知症支援コーディネーターの配置
		健康・生きがいづくり		コグニサイズなど認知症予防をテーマとした教室の開催、「人生100歳時代の設計図」に関するフォーラムやワークショップの開催
	<b>4</b>  <b>障がい者福祉</b>	福祉サービスの充実・社会環境の整備	  概ね順調	
		社会参加や就労の支援		津久井やまゆり園で発生した事件を受けた障害福祉施設等の危機管理に関する講習会の実施、県管理道路や県立都市公園などのバリアフリー化の推進
		障がい者に対する理解促進と権利擁護		障がい者スポーツサポーターの養成、発達障害者支援センターにおける発達障がい者の就労支援の実施
		「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発、共生の理念を広めるイベント「みんなあつまれ」の開催		
柱 II	経済のエンジン	主な取組みと成果	評価	
	<b>5</b>  <b>エネルギー</b>	再生可能エネルギー等の導入加速化	  概ね順調	
		安定した分散型電源の導入拡大		自家消費型太陽光発電等の導入支援、地域経済の活性化に資する再生可能エネルギー発電事業への支援
		省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成		燃料電池自動車の導入費用や水素ステーションの整備費用への支援
		ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の実現をめざすモデル事業及びZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を実現する事業への支援、中小規模事業所等への省エネ診断の実施		



6  
**産業創出**

成長産業の創出・育成	「ME-BYO サミット神奈川2017 in 箱根」などの開催、 介護ロボット普及推進センターでの見学会の開催
企業誘致などによる産業集積の促進	「セレクト神奈川100」の取組みによる特区地域などへの企業の誘致、 ライフサイエンス分野やエネルギー分野におけるベンチャーの事業化を支援
技術の高度化・科学技術研究の推進	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所を設立し県内産業の育成に向けた 技術支援を実施、技術の高度化を促進する「ロボット研究会フォーラム」を開催



順調

7  
**海外展開**

企業の海外展開支援と外国企業の誘致	ライフサイエンス分野での協力などに関する覚書締結先との共同シンポジウムの開催、 海外進出セミナーなどの開催
海外とのネットワークの構築・推進	友好県省道交流会議の開催(韓国、京畿道)、 政策研修員や海外技術研修員を招聘、「ベトナムフェスタ in 神奈川」の開催



概ね順調



8  
**観光**

外国人観光客の誘客促進	外国語観光情報ウェブサイトの発信強化、通訳案内士向けセミナーの開催、 海外5つの国・地域に現地でのセールス活動などを行う「神奈川県観光レップ」の設置
国内観光客の誘客促進	観光客誘致のための県外PRイベントの実施、 県内外の百貨店などにおいて「かながわ名産展」を開催
新しい観光魅力づくり	神奈川県観光魅力創造協議会でのインバウンドツアーの企画・商品化認定、 各種海関連のイベントの実施などによる「かながわシープロジェクト」の推進



概ね順調



9  
**マグカル**

マグカルの全県展開	「神奈川文化プログラム」を認証する取組みの開始、 県内の文化芸術に関する公演情報を掲載したイベントカレンダーの発行
マグカルを担う人づくり	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの開講、 「神奈川かもめ短編演劇祭」などの実施
地域における文化芸術活動に対する支援	伝統芸能に関するワークショップの開催、 民俗文化財を守る活動に取り組む団体が行う伝承活動などへの支援



概ね順調



10  
**農林水産**

県民ニーズに応じた 農林水産物の生産支援と利用促進	マーケット・イン農業*に関心のある事業者を参集した推進会議の開催、 県産畜産物知名度向上のためのイベントや畜産農場での現地商談会の開催 <small>*飲食店、量販店などの小売事業者の皆様との取組み要望に対応した生産</small>
新たな担い手の育成・確保の推進	かながわ農業アカデミーでの就農相談、漁業体験、林業希望者研修などの実施、 優れた経営感覚を有し、規模拡大ができる農業のトップ経営者育成の研修会の開催



概ね順調

**柱Ⅲ**

<b>安全・安心</b>	<b>主な取組みと成果</b>	<b>評価</b>
--------------	-----------------	-----------



11  
**減災**

自助・共助の取組み促進	防災知識の普及啓発のため、総合防災センターのリニューアル (地震体験コーナーの改修、防災シアターの映像コンテンツの制作など)の実施
災害対応力の強化	国の新たな指針や熊本地震の教訓等に基づく避難所マニュアル策定指針の改定、 過去最大規模での「ビッグレスキューかながわ」の実施
災害に強いまちづくり	急傾斜地崩壊危険区域などにおける土砂災害防止施設の整備、 大規模建築物などに対する国・市町村・県が協調した耐震化の促進



順調



12

## 治安

犯罪などの起きにくい地域社会づくり

自主防犯活動への支援として県民向けセミナー及び若者向け研修の開催、振り込め詐欺等被害防止コールセンターによる注意喚起の実施

県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動の強化及び交通事故の防止

県民に制服姿を顕示し、地域住民の安心感を高める活動の実施、交通安全意識の向上を図るため交通安全教育車を整備

犯罪被害者などへの支援

犯罪被害者等への理解促進講座の実施、「いのちの大切さを学ぶ教室」の開催



概ね順調

## 柱Ⅳ

## ひとのチカラ

## 主な取組みと成果

## 評価



13

男女  
共同参画

誰もが個性と能力を発揮できる社会づくり

リケジョ(理工系女子)促進のための「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」の実施、高校生・大学生に対するライフキャリア教育の実施

仕事と子育てや介護を両立できる環境づくり

テレワークを体験するセミナーやアドバイザー派遣の実施、放課後児童クラブや放課後子ども教室を運営・実施する市町村に対する支援

配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

県配偶者暴力相談支援センターでの相談、一時保護、自立支援などの実施、かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」での相談・支援の実施



概ね順調

14

子ども・  
青少年

子ども・子育て支援と結婚から育児までの切れ目ない支援

保育所等定員の増加、一定の技能・経験を有した保育士への追加的処遇改善やキャリアアップ研修の実施

支援を必要とする子どもを守る体制づくり

スクールカウンセラーなどの配置、「かながわひとり親家庭相談ダイヤル」の開設、「かながわ子どものみらい応援団」の発足

青少年の健全育成と自立の支援

青少年有害情報に対する対策やJKビジネスに対する規制を強化するため、青少年保護育成条例を改正、地域若者サポートステーションにおける相談事業の実施



概ね順調



15

## 教育

一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進

確かな学力育成推進校、グローバル教育研究推進校、インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)など各指定校における取組みの推進

児童・生徒などが学ぶ教育環境づくり

経験年数に応じた教員研修の実施、県立学校の校舎の耐震化工事などの実施、災害時用携帯トイレや備蓄食料・飲料水の整備



概ね順調

16

## スポーツ

生涯を通じたスポーツ活動の推進

3歳児健康診査などで地域のスポーツ指導者等による運動教室の実施、3033運動キャンペーンイベントの開催

スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進

総合型地域スポーツクラブなどの運営に必要な研修の実施、県立学校の体育施設の活用促進

オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げていく取組み

東京2020大会1000日前イベントの開催、かながわパラスポーツフェスタ2017の開催



概ね順調



17

## 雇用

産業を支える人材の育成

職業技術校などにおける職業訓練やジョブカードを活用した就職支援の実施、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所における教育講座の実施

就業支援の充実

かながわ若者就職支援センター等におけるキャリアカウンセリングの実施、障害者雇用促進センターによる個別訪問や出前講座など中小企業への障がい者雇用への支援の実施



外国人人材の育成・活用

経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の国家試験合格に向けた支援の実施

概ね順調

柱Ⅴ	まちづくり		主な取組みと成果	評価
	<b>18</b> <b>地域活性化</b>	<b>県西地域活性化プロジェクトの推進</b>	「未病バレー『BIOTOPIA(ビオトピア)』」の第1期オープンに向けたme-byo エクスプラザの整備、「未病を改善する」取組みのPRの実施	  概ね順調
		<b>三浦半島の資源を生かした地域の活性化</b>	三浦半島の「食」の魅力に着目した「三浦半島はイタリア半島プロジェクト」の実施、移住希望者に向けたバスツアーなどの実施	
		<b>地域のマグネットとなる魅力づくり</b>	宮ヶ瀬湖周辺地域での「レイクスポーツフェスティバル」などのイベントやモニターツアーなどの観光プロモーションの実施、商店街活性化に向けた地域商業ブランド確立の支援	
	<b>19</b> <b>多文化共生</b>	<b>外国籍県民がくらしやすい環境づくり</b>	医療通訳派遣や外国籍県民向け日本語講座の実施、外国籍の高校生の保護者との意思疎通を図る通訳支援事業の実施	  概ね順調
		<b>留学生支援の充実</b>	留学生支援拠点「かなファンステーション」での相談事業の実施、専門カウンセラーによる就職活動のサポート	
		<b>多文化理解のさらなる推進</b>	多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ2017」の開催、教員のコミュニケーション能力向上のための専門研修の実施	
	<b>20</b> <b>協働連携</b>	<b>NPOの自立的活動に向けた支援</b>	県指定NPO法人や認定NPO法人に関する制度説明会の実施、寄附文化醸成のためのイベントの開催、NPOの中核となる人材の育成講座の開催	  概ね順調
		<b>NPOなど多様な主体による協働の推進</b>	中間支援組織(NPOを支援するNPOなど)との協働運営によるパートナーシップミーティングなどの開催	
		<b>県と企業、大学などとの連携の推進</b>	企業と協定を締結し図書館・児童館などの「オープンデータ」を活用したサービスを実現、学長・知事懇談会の開催や大学発・政策提案制度の実施	
	<b>21</b> <b>自然</b>	<b>森林の保全・再生</b>	水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援、丹沢大山での土壌保全対策の実施	  概ね順調
		<b>里地里山の保全・活用</b>	保全活動を行う団体の活動費用への支援や活動内容の情報発信、普及啓発イベントの開催	
		<b>都市のみどりの保全・活用</b>	県が所有する緑地の維持管理、小網代の森における自然観察会等のイベントの開催	
		<b>人と動物との共生</b>	「かながわ鳥獣被害対策支援センター」を設置し、地域ぐるみの対策の立ち上げの支援	
	<b>22</b> <b>環境</b>	<b>環境に配慮する活動への参画推進</b>	環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～の実施や家庭における省エネルギー行動の普及促進、自家消費型太陽光発電等の導入支援	  やや遅れている
		<b>資源循環・適正処理の推進</b>	食品関連事業者等に向けた食品リサイクルに関するセミナーの開催、PCB廃棄物の処理の推進、かながわ環境整備センターの運営	
		<b>大気環境保全の推進</b>	ガソリンペーパー対策を促すための啓発活動、工場・事業所からのVOC(揮発性有機化合物)排出抑制対策の実施	
	<b>23</b> <b>都市基盤</b>	<b>交流と連携を支える道路網の整備と活用</b>	新東名高速道路の県内初の一部開通や幹線道路の整備、道路を永く、有効に活用する取組みの推進	  やや遅れている
		<b>交流と連携を支える鉄道網の整備</b>	リニア中央新幹線の建設促進、東海道新幹線新駅の設置、神奈川東部方面線整備などの促進	
		<b>国際競争力の強化に向けた空港施策の充実</b>	羽田空港の機能強化の促進、羽田空港跡地地区と川崎市殿町地区を結ぶ羽田連絡道路の整備促進	
		<b>持続可能な魅力あるまちづくりの推進</b>	都市機能の集約化や地域の新たな拠点づくりの推進、市町村の空家等対策計画の策定支援	

# 「神奈川の戦略」の取組状況

超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策分野横断的にとりまとめたプロジェクトを、さらに複合的に実施する取組みとしてまとめた「神奈川の戦略」の取組状況です。

## ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

- 「ヘルスケア・ニューフロンティア推進プラン」の策定
- 「神奈川ME-BYOリビングラボ」の制度立ち上げ、実証事業の実施
- 世界保健機関(WHO)が主導する「エイジフレンドリーシティ」に県内19市町が参加
- 保健福祉大学大学院新研究科(通称:ヘルスイノベーションスクール)の設置許可申請



## ロボットと共生する社会の実現

- 企業や大学などの共同開発のコーディネート、早期の商品化が期待できる案件を重点支援
- 実証会場やモニターの紹介、プレ実証フィールドの運営
- ロボットを実際に体験できる機会の創出、現場におけるロボットの導入促進
- 市街地などでの自動運転実証実験を支援、自動運転への県民理解促進や機運醸成のための「自動運転フォーラム」を開催
- リハビリテーションロボットに関する専門的な相談窓口として「かながわりハビロボットクリニック」を設置



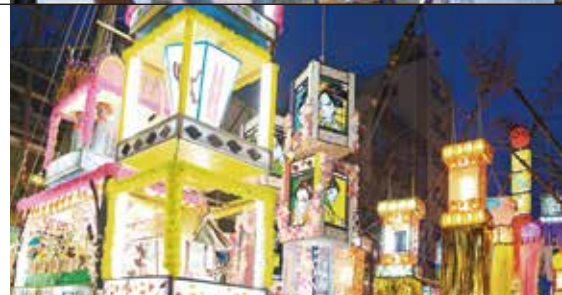
## 「グローバル戦略」の推進

- 無料スタートアップオフィスの提供や外国企業立上げ支援補助金などにより21社の外国企業を誘致
- ライフサイエンス分野での協力などに関する海外先進地域・機関との覚書(MOU)に基づく連携を活かし、米国のスタンフォード大学と共同でシンポジウムを開催
- 開発途上地域などから政策研修員及び海外技術研修員を受け入れ、国際的なネットワークを形成、拡大
- 保健医療、子育てや災害に関する問い合わせに多言語で応じる「多言語支援センターかながわ」を運営



## 地方創生の推進

- 県の地方創生の着実な推進を図るため、2018年3月に「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一部改訂
- 県への移住を促進するため、神奈川の魅力を紹介した映像の作成、市町村と連携した県ウェブサイトの作成
- 「かながわシープロジェクト」、「県西地域活性化プロジェクト」、「三浦半島魅力最大化プロジェクト」などの地域資源を活用した魅力づくりや、「宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化」に向けた観光プロモーションを実施



## オリンピック・パラリンピック

- セーリング競技開催の機運を盛り上げるため、小・中・高校生などを対象とした海上体験会や出張型体験会を開催
- ブータン王国と事前キャンプに関する協定を締結、カナダ(ボート協会)と事前キャンプに関する覚書を締結
- 「神奈川育ちのオリンピック・パラリンピアン」の出場をめざし、アスリートや指導者を支援する「アスリート育成事業」「パラリンピアン育成事業」を実施
- セーリング競技の成功と、湘南港の機能強化や江の島地域の活性化を図るため、江の島大橋の拡幅整備に着手



